

全組合・家族の総決起で闘う動労千葉を守れ！

団結旗開きの圧倒的成功を第一歩に

1月9日地本青行隊結成・14日天台地区家族組合結成、16日地本団結旗開き、における家族の参加を含め一三〇〇名の大結集による圧倒的成功、そして本日（20日）以降各支部執行部を加えた地本防衛の強化など、いよいよ闘う動労千葉地本の闘いと組織を守り、職場と家族を守る家族ぐるみの闘いの前進が待ちとられている。今日、われわれは12月24日以降連日に行たる青年部を軸とした地本防衛行動を、さまざまの支援も含めて貫徹し、そのことによって動労内一部反動分子や革マル派による一〇一回定中委以降強められてきた「緩部問題」をはじめとする千葉地本破壊策動を完全に封じこめている。

地本・支部の防衛体制強化Ⅱ 〆七回支部代表者会議で確認

こうした闘いの成果を地本全体のものとし、全支部に定着させるために、団結旗開きに先立って開催された〆七回全支部代表者会議は当面の取り組みについて次のことを確認している。

- (1) 地本防衛について
・1月20日以降、各支部執行部を中心に動員体制に入る。
- (2) 支部防衛について
・常時監視・パトロール体制を大衆的に確立する。
・どんなにささいなことでも（不審者立ち入り・不審電話等々）地本・支部に連絡する。
- (3) 家族対策の強化
- (4) 闘いの意義の徹底と理論武装

さあ！家族ぐるみの闘いだ！

団結旗開きへの多数の家族の参加は、いよいよ正念場をむかえた千葉地本防衛の闘いにとって極めて重要な意義をもっていている。かつて、三井三池闘争がそうであったように、又、現には年間、意気軒昂として闘い続けている三里塚、芝山農民がそうであるように家族ぐるみの闘い、家族の闘いへの参加なくして強固な、しかも長期にわたる闘いはできない。われわれは、全組合員・家族の強固な団結と積極的な行動参加を待ちとらなければならない。

旗びらきの発三ロより

団結のために、ジェット斗争つらぬく

佐倉支部・土屋書記長

われわれは、この三里塚・ジェット闘争を支部一丸となって闘ってきた。このような我々に対して本部は「直向委」を設置してきた。これが本場の労働運動といえるのか。

ジェット輸送に反対する支部として、更に団結をうち固めて闘ってきたい。

家族と一体となって

三里塚農民（辺田部長）瓜生あいさん

反対同盟が3年間闘ってきたのも、家族の参加があったからできたのです。三里塚も二期工事阻止にむけ、今までの以上の家族ぐるみの闘いが必要になっています。動労の家族の方も、この正念場をガンバってください。

1.16 旗びらき……参加家族の感想……

（成田支部・Aさん）

旗開きに参加して本当によかったと思います。こんなに多勢の方々に参加しているのを見たとき本当に心強く思います。

（千葉転支部・Bさん）

大変楽しませていただきました。これから是非参加したいと思っています。

（津田沼支部・Cさん）

盛会なのでびっくりしました。これから家族ももっと多勢参加するようになければと思っています。

感想